

一般質問通告書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により
通告します。

平成28年8月24日
東村山市議会議員 様

議席番号 17番
質問者 石橋 博

記

番号	質問の項目と要旨
1 (要旨)	<p>児童生徒一人一人に応じたきめ細かな支援・指導を！</p> <p>児童生徒一人一人が心豊かに逞しく生き生きと活動している姿ほどうれしいことはありません。しかし、この夏、学校や関係者の努力にもかかわらず児童生徒の問題行動を少なからず耳にしました。特に、長期欠席児童生徒の増加傾向に歯止めがかかりません。児童生徒の健やかな成長を願い、以下質問いたします。</p> <p>(1) 市内児童生徒の生活指導上の課題を教育委員会としてどのように捉えていられるのでしょうか、教育長の見解を伺います。</p> <p>(2) 全校に配置されたスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに、教育委員会として、生活指導上どのような役割を期待されているのでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>(3) 不登校の解決にあたっては、当該児童生徒を中心に関係者の連携が極めて大切だと考えます。特に、次の2点について伺います。</p> <p>① 学校は、希望学級とどのように児童生徒の情報を共有しているのでしょうか。</p> <p>② 学校は、スクールソーシャルワーカー、指導室、相談室とどのように児童生徒の情報を共有しているのでしょうか。</p> <p>(4) 学校内では、気になる児童生徒一人一人の不登校等生活指導上の課題について全教員で共有しているのでしょうか、伺います。</p> <p>(5) 学校は長期欠席児童生徒一人一人がどこで、どのように過ごしているか把握しているのでしょうか、伺います。</p> <p>(6) 不登校等問題行動の未然防止策を教育委員会としてどのように考えていられるのか教育長に伺います。</p>

- 2
(要旨) ライフステージに応じたスポーツ活動のより一層の推進を！
- 東村山市のスポーツ行政に多大な貢献をされた吉田健一先生がご逝去されました。心よりご冥福をお祈りいたします。昭和49年に「スポーツ都市宣言」を行って以来、スポーツ都市宣言にふさわしい実績を重ね、都市における健康・体力づくり推進のモデルとなってきました。しかし、時代の経緯とともにさまざまな歪みも生じ、制度、組織にも課題が見え始めているように思われます。平成15年吉田健一先生が中心となって策定された「スポーツ フォアライフプラン—東村山市スポーツ振興計画提言書—」、第4次総合計画後期基本計画をもとに、ライフステージに応じたスポーツ活動のより一層の推進を願い、今後のスポーツ活動推進計画について以下質問いたします。
- (1) 地域スポーツ活動の推進及び健康・体力づくりを牽引してきた各町体力づくり推進委員会の現状と課題について教育委員会の見解を伺います。
- (2) 各町体力づくり推進委員会の抱える課題をどのように解決しようと考えているのか、教育委員会のお考えを伺います。
- (3) 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向けて、市民の気運をどのように醸成しようと考えられているのか、教育委員会のお考えを伺います。
- (4) 子どもの体力・運動能力の低下傾向が続いています。また、運動する子どもとしない子の二極化の傾向が見られます。そこで2点伺います。
- ① 地域のニーズに応じ公園や広場を子どもが自由にキャッチボール等できるようにすることはできないでしょうか。
 - ② 子どもの体力づくり・健康づくりに対する保護者の意識を啓発する資料の作成・配布について検討されてはいかがでしょうか。
- (5) 競技志向の子どもたちへの一貫した指導をできる地域スポーツクラブが必要だと思いますが、地域スポーツクラブの設置について教育長のご見解を伺います。
- (6) 障がい者のスポーツニーズの現状を踏まえ、関係者のネットワーク化・組織化を図り、障がい者のスポーツニーズを支援できる体制づくりに今後努める必要があると考えますが、教育長のお考えを伺います。